

さやリ所轄愛宕署ニ於テ二十五名検挙取調中  
四月二日午後零時五分頃争議團員十種民権外九名ハ麹町區  
紀尾井町三ノ元信社印刷所ニ至リ守衛ノ制止ヲ背ニスレテ  
事務所ニ入り稲葉工場長(野村ト親交アリ)ニ面會シ強要  
シタルモ不在ナリト拒絶ハラレ引揚ケタルカ其際何者ヲ道  
路ヨリ鷹接室ニ對シ土塊(壁)一個(約五百匁位)ヲ投入スリ  
犯人所轄署ニ於テ捜査中  
右及申(通)報候也

### 労働大衆の壓力で

## 俺達の工場を奪還せよ!!!

五月二十六日の公判に押しかけろ!

#### 親愛なる全労働者諸君!

我が野村印刷争議團は、去る四月十七日(日曜日)突如、襲來した執達吏によつて、假處分に附され、工場から放り出されて以來すでに、三十餘日を闘ひ續けてゐます。この争議は、普通の工場ストライキとは異つて、いつたんは労働者の管理となつた工場をムリムタイに、假處分といふ悪法律のためにモギとられたのですから、俺達の工場を返せ!工場立入禁止の假處分に反対だ!といふ要求で闘つてゐるのです。恰度、小作人の土地立入禁止反対となじ性質だから、正式な裁判上の手續をとると同時に、労働者の大衆的壓力によつて、正々堂々と闘つてゐる争議なのです。抑々、昨年末、工場閉鎖に反対した我々は野村惣吉との間に、公文書を以て、向ふ三ヶ年一ヶ月六百數十圓の貸付料で労働者管理となり「鍵をなめても!」といふ固い決意のもとに、四月なかばまで、豫想外の好成绩をあげて來たのです。ところが、オヤチは、この好成绩を見て、「居ても立つてもられず」「不穩分子が潛入して、機械、器具、建物をハカイする恐れがある」といふ偽申書を以て日曜日であるにも拘らず、假處分を執行せしめるに至つたのです。

#### 親愛なる全労働者諸君!

資本家がやつてゆけぬと放り出した時、工場閉鎖を以て産業合理化の犠牲を強制した時、労働者は、その工場を労働者の手で管理し經營すること闘はねばなりません。それより、生きる道がないのです。そして、我々も亦、資本家との合議の上、労働者の手に管理し、立派にやつて行けることを實證して來たのです。ところが、裁判所は、ブルジョア法律を悪用して、我々四十人の労働者とその家族の生活を奪ひとつたのです。だから、我々は、あくまで、工場を返せ!工場立入禁止に反対だ!と言つて闘つてゐるのです。

#### 親愛なる兄弟諸君!

公判は五月二十六日に開かれます。この公判が、労働者の正義の叫びに勝利を授け與へるか、それとも、惡辣なる強盜と其の手先共―掃蕩士―五鬼上某、暴力團非上某に勝利の軍配をあげるかの日です。労働者管理を認め殺すか、それとも、労働者の生活權のために労働者管理を承認するか、その二つに一つのための重大な日とされてゐるのです。五月二十六日の日こそ、第一回の公判が何を判決するかを、労働者は何を要求してゐるかを、労働者大衆の壓力を以て示さうではありませぬか。  
★五月二十六日の公判にデモで押しかけろ!  
★労働者管理を以て工場閉鎖と闘へ!  
★工場立入禁止假處分絶対反対だ!  
★野村印刷争議團を勝たせる!

芝區濱松町二ノ三六

野村印刷争議團  
東京出版労働組合